

第2回 MRP-CTP 研究会

<http://ctp.umin.jp/>

* 会場ご案内 *



日時：平成22年3月27日(土) 14:00~17:00

場所：ホテルモンフレ半蔵門 1階「瑠璃」

〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号

TEL：03-3556-7111

共催/協賛(五十音順)

株式会社日立メディコ

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

GE 横河メディカルシステム株式会社

シーメンス旭メディテック株式会社

第一三共株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

* 勝手ながら、資料準備費として会費を1,000円徴収させていただきます。

* なお本研究会には、放射線科専門医更新のためのクレジット3単位が認定されています。

* 地下鉄半蔵門線「半蔵門駅」5番出口より約1分

ごあいさつ

CT 技術の進歩，特にスキャンの高速化，画像処理時間の短縮を背景として，2003 年頃より CT 灌流画像(CTP)が急速に普及しました。しかし当時，その検査法，診断法にはまったく統一がなく，撮影はしてみたものの臨床検査として役立たないばかりか，大きな被曝線量も問題となりました。そこで我々は，CTP を安全かつ有効に利用するために，画像診断医のみならず臨床医，放射線技師，メーカーの研究者が一同に会して忌憚のない意見を交換しながら勉強する場として，CTP 研究会を企画しました。

CTP 研究会は，2004～5 年に計 3 回開催され，短期間で大変実り多い成果を挙げて，その活動を日本磁気共鳴医学会の研究プロジェクトに引き継ぎ，また時期をほぼ同じくしてスタートした ASIST-Japan (厚生労働省平成 17 年度循環器病研究委託費)と密接な連携のもと，多くの研究成果を生み出しました。特に CTP，MRP の標準化を達成してガイドラインを発表，その成果は多くの臨床治験などに採用されるに至っています。

その後，CTP，MRP の検査は脳卒中の臨床の場に急速に普及し，ASIST-Japan が公開した灌流解析ソフトウェア PMA も世界中で広く利用されるに至りましたが，まだまだ解決すべき問題は多く，新たな血栓溶解治療のトライアルも進行中です。そこで昨年 2009 年には，MRP-CTP 研究会として新たに研究会を開催し，今回はその 2 回目となります。

今回は，前回に引き続き PMA の最新情報を提供するとともに，灌流画像，血栓溶解治療の世界的な趨勢をあらためて勉強したいと思います。PMA の先進ユーザの施設からは，具体的な活用例を紹介していただきます。また，ごく最近になって，アメリカで CTP の被曝事故が報告されました。各メーカーからは CT の X 線被曝低減技術の最先端について紹介していただき，あらためて X 線被曝の問題を勉強し直す機会としたいと思います。

灌流画像に関心を持たれる多くの皆様の参加をお待ちしております。

MRP-CTP 研究会世話人

百島 祐貴 (慶應義塾大学・放射線診断科 momo@sc.itc.keio.ac.jp)

工藤 與亮 (岩手医科大学・先端医療研究センター)

高木 亮 (日本医科大学・放射線科)

井田 正博 (東京都保健医療公社荏原病院・放射線科)

プログラム

14:00～14:05 開会の挨拶

慶應義塾大学 放射線診断科 百島 祐貴

14:05～15:05 【技術情報提供】

「CT 被曝低減技術の最先端」

株式会社日立メディコ
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
GE 横河メディカルシステム株式会社
東芝メディカルシステムズ株式会社
(座長 慶應義塾大学 放射線診断科 百島 祐貴)

15:05～15:15

～ 休憩 ～

15:15～16:00 【講演 1】

「灌流画像解析と PMA の最新情報」

岩手医科大学 先端医療研究センター 工藤 與亮
(座長 日本医科大学 放射線科 高木 亮)

16:00～16:10

～ 休憩 ～

16:10～16:55 【講演 2】

「臨床事例報告

- 超急性期脳梗塞での PMA 活用の実際」

中村記念病院 放射線科 尾野 英俊
(座長 東京都保健医療公社荏原病院 放射線科 井田 正博)

16:55～17:00 閉会の挨拶

岩手医科大学 先端医療研究センター 佐々木真理